

キャラクター名	プレイヤー名
アイラ・ガラ・エルメレス	

メインクラス	アコライト	Lv.1:		レベル	5
サポートクラス	バード	Lv.1:	セージ	性別	女性
称号クラス				年齢	57
種族	エルダナーン			境遇	略奪
出自(効果)	王侯貴族			目標	奪還

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	7	8	8	18	12	17	7
ボーナス	2	2	2	6	4	5	2
クラス修正	0	1	0	1	1	2	1
他修正							
能力値	2	3	2	7	5	7	3

HP	47
MP	72
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	スタッフ	至近	-1	2	0	1	0	0	0
左手									
頭部	サークレット					2			
胸部	ローブ					2			
補助	ファインポイントアーマー				-1	5			
装身具	高位聖印								
能力値			3	0	2	0	7	7	7
スキル									
その他									
総計(右)			2	2					
総計(左)					1	10	7	7	7
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	5			5	+ 2 d
トラップ解除	3			3	+ 2 d
危険感知	5			5	+ 2 d
エネミー識別	7			7	+ 3 d
アイテム鑑定	7			7	+ 2 d
魔術判定	7			7	+ 2 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定	3			3	+ d

所持品	
ポーションホルダー	
MPポーション*3	
上等な衣服	
ベルトポーチ	
小道具入れ	
野営道具	
ローブ	
ランタン	
火打ち石	
筆記用具	
祝福の花	

現在重量:	3	所持金:	698	預金・借金:	
最大重量:	9				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
マジックセンス	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果:	作成時に知力基本値+3							
プロテクション	5	3	DR直後	20m	単体	自動成功	1/MP	
効果:	対象が受ける予定のダメージに-[SLd]							
ヒール	1	4	メジャー	20m	単体	魔術	-	
効果:	3d+(CL*3)点回復。クリ「ダイス増」							
クイックヒール	1	5	イニシア	-	自身	自動	シーン:1	
効果:	イニシアでヒール使用可							
エフィシエント	5	-	パッシヴ	-	自身	-	-	
効果:	分類:魔術効果に+SL*2							
エンサイクロペディア	1	-	セット	-	自身	自動	-	
効果:	エネミー識別をセットアップで							
コンコードダンス	1	-	パッシヴ	-	自身	-	-	
効果:	全てのエネミーに識別が行える							
ジョイフルジョイフル	1	7	メジャー	20m	単体	呪歌	シーン:SL	
効果:	行動済みのキャラを未行動に。クリ「コスト0」							
ディスコード	1	4	DR前	20m	単体	自動	ラウンド:1	
効果:	対象のDR+SL。自身を対象不可							
ヒストリー	1	-	パッシヴ	-	自身	-	-	
効果:	歴史的「知力」判定+1d							
エンチャントウエポン:無	1	3	メジャー	至近	単体	魔術	-	
効果:	シーン間、武器攻撃を無属性に							
インテンション	1	-	パッシヴ	-	自身	-	-	
効果:	最大MP+CL							
マジカルハーブ	1	-	アイテム	-	自身	-	-	
効果:	MPポーション*3装備							
フェイス:アエマ	1	-	パッシヴ	-	自身	-	-	
効果:	回復効果+2							
モンスターロア	1	-	パッシヴ	-	自身	-	-	
効果:	エネミー識別+1d							

エルダナーンの神官学者。最近、妹とのコミュニケーションの為に楽器に手を出した。高身長、長い耳、穏やかな森の民のような見た目。わかりやすい程に種族的特徴が出ている。

幼少期から聡明で大人しく、室内で本を読んだり、妹が遊んでいる姿を眺めるのが好きだった魔術の才に溢れ、知識の収集もほとんど趣味で行っていた。長女なので家庭の事情はある程度聞かされていた。両親と妹がより良い生活が送れるように自分が頑張ろうと過ごしてきた。7年前。大人として認められた日に妹を失うまでは。

消えた妹。妹の話を露骨に避ける両親。聡明さゆえに察してしまい、両親を問い詰める。明かされた真実は自分の為に犠牲になった妹という現実。見習い神官として森の神殿に勤める予定だったが、その日に家を出て、冒険者となる。

冒険者として、神官学者の見分と能力を高めながら、良く先で妹の情報を求める生活。あの自由の象徴のような娘がこの空の下動き回っていると信じて・・・。

その果てに再開した妹。感動もつかの間、彼女の態度から昔とは関係が違うのだと察する。それでも楽しかった過去を取り戻すために彼女との関係修繕模索する毎日へと変わる。一度失ったからこそ、もう一度失う恐怖に怯え、踏み込むことを躊躇する自分から目を逸らしながら・・・

自分を押し殺す女性